

(専門分野)

授業科目	高齢者の健康な生活の保持・増進に向けた看護	講師	教員	実務経験	単位数
				○	1
学習目標	1.高齢者の加齢に伴う健康状態や日常生活能力をアセスメントする方法を理解する。 2.高齢者とその家族の健康・自立を支えるための基礎的援助方法を理解する。 3.加齢に伴う症状に対する援助方法について理解する。 4.高齢者とその家族の自立を支える日常生活の援助を理解する。				時間数
					30
					学年
					2
					時期 第1学期
回数	主題	学習内容		授業方法	講師
1～2	高齢者への基礎的援助	1. 高齢者の観察 2. コミュニケーション (感覚機能低下・認知力低下) 3. 加齢による身体変化への援助 4. 高齢者体験の実施		講義 演習	教員
3～4	自立を支える日常生活の援助 (日常生活能力のアセスメントと援助の方法)	1. 食生活と栄養 1) 高齢者における食生活の意義 2) 高齢者に特徴的な変調 3) 食生活のアセスメント 4) 食生活の支援 ・嚥下訓練 ・口腔ケア・義歯の取り扱い		講義 演習	教員
5～7		2. 活動・運動とレクリエーション 1) 基本動作と環境のアセスメント 2) 転倒のアセスメントと看護 ・歩行介助・移動 3. 休息と睡眠 1) 高齢者と生活リズム 2) 高齢者に特徴的な変調 3) 生活リズムのアセスメント 4) 生活リズムを整える看護			
8～9		4. 排泄 1) 高齢者の排泄ケアの基本 2) 排尿障害のアセスメントとケア 3) 排便障害のアセスメントとケア ・オムツ交換			

10～11		<p>5. 清潔・身だしなみ</p> <p>1) 高齢者に生じやすい清潔に関する健康課題</p> <p>2) 清潔のアセスメント</p> <p>6. 性生活</p> <p>1) 高齢者におけるセクシャリティ</p> <p>7. 住環境</p> <p>1) 高齢者と生活リズム</p> <p>2) 高齢者に特徴的な変調</p> <p>8. 対人関係</p> <p>1) 高齢者とのコミュニケーションとかわり方の原則</p> <p>2) 高齢者の状態・状況に応じたコミュニケーションの方法</p> <p>3) 社会参加</p>	講義	教員
12	高齢者に多い事故への対応	<p>1. 転倒・転落</p> <p>2. 熱傷</p> <p>3. 窒息</p> <p>4. 感染</p> <p>5. 救急時の対応</p> <p>6. 災害時の対応</p>	講義	教員
13～14	加齢に伴う症状と看護	<p>1. 痛み</p> <p>2. 掻痒感</p> <p>3. 不眠</p> <p>4. 痺れ</p> <p>5. 冷え</p> <p>6. 便秘・尿失禁</p> <p>7. 振戦</p> <p>8. 脱水</p> <p>9. うつ</p> <p>10. 難聴</p> <p>11. 視力障害</p>	講義	教員
15	評価	<p>単位認定試験（45分）</p> <p>まとめ</p>		
評価方法	筆記試験 100点	テキスト	<p>系統看護学講座 老年看護学</p> <p>老年看護 病態・疾病論</p>	